

なぜか会派を超えた
一体感が

4日の都議会環境・建設委員会で、動物園マスタープランが議題になり、終始、和やかなムードが広がった。

山下容子委員(民主)は民放の元アナウンサーで、「話題に困った時は動物園」と当時の裏話を明かし、笑いが起きた。

記者席

木内良明委員(公明)は、動物園で来園者向けのバックヤードツアー開催することを提案すると、「再整備に当たって、可能となるよう検討する」という部長答弁を得た。前向きな回答にもかかわらず、木内氏は「淡々と答えるな」と述べ、周囲を沸かせた。

動物園が話題になると、会派を超えた一体感が生まれるのは、なぜだろうか。